



(写真はイメージです)

ブイゲット® プラス® リンバー® L粒剤



箱から箱へ
「さーっ」と簡単

1袋に稲田標の殺菌剤



高密度播種
対応



生育ステージ 播種 出芽期 緑化期 硬化期 移植

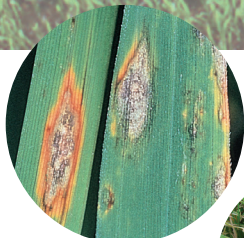
処理時期 処理適期 (1.5葉期以降)

処理時期が広いので忙しい移植時の作業を分散できます。

1.5葉期以降が処理適期です。

(適用病害虫によっては使用時期が異なる場合があります。)

いもち病・細菌病に負けない稲になる
紋枯病・主要害虫も同時に防除



葉いもち



白葉枯病



イネドロオウムシ



イネミズゾウムシ



コブノメイガ



ウンカ類



もみ枯細菌病



紋枯病

®ブイゲットは日本農薬(株)の登録商標、
®プラスはBASF社の登録商標、
®リンバーは住友化学(株)の登録商標

※ブイゲットプラスリンバーL粒剤は「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載

水稻育苗箱専用 殺虫殺菌剤

ブイゲット プリンス リンバー L粒剤



有効成分:チアジニル 6.0% [殺菌剤分類 P3]
 フィプロニル 1.0% [殺虫剤分類 2B]
 フラメトピル 4.0% [殺菌剤分類 7]

安全性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

病害防御機能増強とは?

ブイゲットの有効成分チアジニルは、いもち病菌に対して直接抗菌力はありません。本剤を吸収した稲は、抵抗力が増加し、侵入したいもち病菌を細胞内に封じ込め、菌糸の進展を阻止します。これにより、いもち病菌の病斑の形成、蔓延を防ぎます。

ブイゲット

- 稲をいもち病にかかり難くする作用性(病害防御機能の増強)を有します。
- 葉いもち防除効果が高く、効果持続性にも優れます。
- 本田で発生するもみ枯細菌病や白葉枯病等も同時防除できます。

特長

プリンス

- 独自の作用機作をもつ殺虫剤で低薬量で高い殺虫効果を示します。
- 長期にわたり高い防除効果を示すので、省力的かつ経済的です。

リンバー

- 紋枯病菌に強力な抗菌活性を示します。稲体への吸収移行に優れ、高い効果が長期にわたり持続します。

試験成績(いもち病/紋枯病)

葉いもち



日本農業(株)総合研究所(2006年)

品種:日本晴
 移植:6/16 処理:移植当日(6/16) 50g/箱
 出穂:8/19
 発生状況:(葉いもち)少発生、(紋枯病)少発生
 調査:(葉いもち)8/7 (紋枯病)9/11

適用病害虫および使用方法

2022年7月適用拡大

<2022年7月現在の登録内容>

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数	フラメトピルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病、紋枯病、ウンカ類、ニカメイチュウ、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、コブノメイガ、イネツトムシ、白葉枯病	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期～移植当日	1回	本剤の所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布する。	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	2回以内(移植時までの処理は1回以内)
	もみ枯細菌病		移植3日前～移植当日					
	内穎褐変病		移植当日					
	いもち病、紋枯病、ウンカ類、ニカメイチュウ、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、コブノメイガ、イネツトムシ、白葉枯病	高密度には種する場合は1kg/10a	緑化期～移植当日					
もみ枯細菌病	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り	移植3日前～移植当日						
内穎褐変病		50～100g	移植当日					

正しく安全にお使いいただくために

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植してください。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じるおそれがあるので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。

- せく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノピリタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農業チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区
 京橋1丁目
 19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/

2024年9月作成版 (SPA)DJ12409S